

令和5年度 小学部1年（Ⅱ課程）生活科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
170	1年生（26人）		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けることができる。(小1段階)</p> <p>(思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて関心を持ち、感じたことを伝えようとするができる。(小1段階)</p> <p>(学・人)自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心を持ち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりすることができる。(小1段階)</p>
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	18	<p>(知及技)身の回りの人との関わり方に関心をもつことができる。(小1段階-オ 人との関わり-イ)</p> <p>(思判表力)教師や身の回りの人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようすることができる。(小1段階-オ 人との関わり-ア)</p> <p>(学・人)人との関わりや挨拶する良さを味わい、意欲をもって挨拶などに取り組むことができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技)教師の名前を覚えたり、友だちと手を繋いだり、簡単な要求を表現したりしている。</p> <p>(思・判・表)教師や友だちなど、身近な人に気付き、教師と一緒に簡単な挨拶をしている。</p> <p>(主学)自ら教師や友だちと関わり、進んで挨拶しようとしている。</p>	単元1 「わたしの先生、友だち」	<ul style="list-style-type: none"> ・担任教師や友だちなどの名前を覚えたり、手を繋いで歩いたりする。 ・要求を簡単な言葉や身振りで伝える。 ・教師や友だちに視線を向け、簡単な挨拶をする。 ・教師や友だちと簡単な挨拶や遊びなどで関わりをもつ。
	25	<p>(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。(小1段階-サ 生命・自然-イ)</p> <p>(思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようすることができる。(小1段階-サ 生命・自然-ア)</p> <p>(学・人)身の回りの生命や自然が成長、変化する楽しさを味わい、関心をもって学習に取り組むことができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技)あさがおの種まきや水やりを通して観察したり、触れたりしている。</p> <p>(思・判・表)あさがおの成長や変化に気付き、それを教師と一緒に簡単な言葉や身振り、観察シートで伝えている。</p> <p>(主学)進んで水やりや観察しようとしている。</p>	単元2 「あさがおを育てよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・あさがおの種まきや水やり、観察をする。 ・あさがおの観察をし、成長や変化を簡単な言葉や身振りで伝える。 ・成長観察シートの色塗りをする。
	16	<p>(知及技)身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。(小1段階-コ 社会の仕組みと公共施設-イ)</p> <p>(思判表力)身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようすることができる。(小1段階-コ 社会の仕組みと公共施設-ア)</p> <p>(学・人)公共施設の使い方を守り、安全に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技)身近な図書館、公園などの公共施設を利用している。</p> <p>(思・判・表)身近な図書館や公園などを利用し、公共施設の名前を言ったり、場所が分かっていたりしている。</p> <p>(主学)公共施設の使い方を守り、安全に利用しようとしている。</p>	単元3 「いろいろな場所を知ろう」 ・校内探検 ・校外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館や公園などの公共施設を利用する。 ・校内探検などを通して、自分の学級や図書室などに関心を持ち、その場所や名称を知る。 ・校内探検を通して、その場所の名前を知りたり、そこでの活動や対応する人などを知る。行きたい場所の絵カードを指さしたり、名前を言ったりする。 ・事前に校外学習をし、実際に施設を利用する。 ・事前に公共施設の使い方を学習する。
	15	<p>(知及技)金銭の扱い方などに関心をもつことができる。(小1段階-ク 金銭の扱い-イ)</p> <p>(思判表力)身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとすることができる。(小1段階-ク 金銭の扱い-ア)</p> <p>(学・人)金銭を扱うことへの意欲や関心を持ち、学習に取り組むことができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技)品物の買い方を知り、教師と一緒に買い物をしている。</p> <p>(思・判・表)教師と一緒に品物を選んでレジを持っていく、お店の人に金銭を渡す、品物を袋に入れる等をしている。</p> <p>(主学)進んで、買い物学習に取り組もうとしている。</p>	単元1 「買い物しよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・品物を選び、教師と一緒に買い物をする。 ・品物を選んでレジまで持って行き、店の人に金銭を渡す。品物を袋に入れるなどの体験をする。 ・買い物の流れを事前に学習する。
	26	<p>(知及技)身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。(小1段階-サ 生命・自然-イ)</p> <p>(思判表力)身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようすることができる。(小1段階-サ 生命・自然-ア)</p> <p>(学・人)身の回りの生命や自然が成長、変化する楽しさを味わい、関心をもって学習に取り組むことができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技)野菜の種まきや水やりを通して観察したり、触れたりしている。</p> <p>(思・判・表)野菜の成長や変化に気付き、それを教師と一緒に簡単な言葉や身振り、観察シートで伝えている。</p> <p>(主学)進んで水やりや観察しようとしている。</p>	単元2 「野菜を育てよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の種まきや水やり、観察をする。 ・野菜の観察をし、成長や変化を簡単な言葉や身振りで伝える。 ・成長観察シートの色塗りをする。

2 学期	11	<p>(知及技) 簡単な手伝いや仕事に関心をもつことができる。(小1段階-キ 手伝い・仕事-イ)</p> <p>(思判表力) 身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとするができる。(小1段階-キ 手伝い・仕事-イ)</p> <p>(学・人) 簡単な手伝いや仕事をする良さを味わい、意欲をもって取り組むことができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技) 自分が使用した道具等を運んだり、教師に頼まれた簡単な手伝いをしたりしている。</p> <p>(思・判・表) 教師と一緒に物を配ったり届けたりすることや作業を手伝うなどしている。</p> <p>(主学) 教師と一緒に意欲をもって簡単な手伝いや片付けをしている。</p>	<p>単元3 「お手伝いをしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 後片付け 掃除 準備 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な手伝い（お皿の準備、机拭きなど）をする。 教師と一緒に簡単な掃除をする。 使ったおもちゃやお皿の後片付けをする。
	21	<p>(知及技) 安全に関わる初歩的な知識や技能を身に付けることができる。(小1段階-イ 安全-イ)</p> <p>(思判表力) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もうとすることができる。(小1段階-イ 安全-ア)</p> <p>(学・人) 教師と一緒に行動し、安全に日常生活を過ごすことができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技) 教師と一緒に避難したり、指示を聞いて行動したりしている。</p> <p>(思・判・表) 危険な場所に行かないこと、危険な物を口に入れないこと、階段や段差などに注意して歩くことなど教師と一緒に安全に気をつけて行動している。</p> <p>(主学) 日常生活の中で、教師と一緒に安全に行動しようとしている。</p>	<p>単元4 「安全に行動しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難訓練 危険防止 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練を通して、教師と手を繋いだりして適切な行動をしたり、指示に従って避難したりする。 教師と一緒に行動し、危険な場所や物を知ったり、安全に気をつけて行動したりする。 階段や段差などに注意して歩く。 教師が伝えた危険な場所や物を聞き、怪我なく安全に行動する。
3 学期	13	<p>(知及技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。(小1段階-シ ものの仕組みや働き-イ)</p> <p>(思判表力) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとするができる。(小1段階-シ ものの仕組みや働き-ア)</p> <p>(学・人) ものの仕組みや働きに関心をもって学習に取り組むことができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技) 風や磁石、ゴム等を使ったおもちゃや道具で遊んでいる。</p> <p>(思・判・表) 風や磁石、ゴム等を使ったおもちゃなどの仕組みや働きについて、見たこと感じたことを簡単な言葉や身振り等で伝えている。</p> <p>(主学) 風邪や磁石、ゴム等で使ったおもちゃや道具で遊び、自ら学習に取り組もうとしている。</p>	<p>単元1 「いろいろなおもちゃで遊ぼう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 風や磁石、ゴム等、ものの仕組みや働きを使ったおもちゃや道具で遊ぶ。 紙コップロケットといったゴムの力を利用したおもちゃで遊び、見たこと感じたことを簡単な言葉や身振り等で伝える。
	16	<p>(知及技) 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。(小1段階-サ 生命・自然-イ)</p> <p>(思判表力) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとするができる。(小1段階-サ 生命・自然-ア)</p> <p>(学・人) 身の回りの生命や自然が成長、変化する楽しさを味わい、関心をもって学習に取り組むことができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技) 教師と一緒に野菜の収穫をしている。</p> <p>(思・判・表) 収穫した野菜を観察し、それを教師と一緒に簡単な言葉や身振り、観察シートで伝えている。</p> <p>(主学) 野菜ができた楽しさや喜びを味わい、進んで野菜の収穫しようとしている。</p>	<p>単元2 「収穫をしよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の収穫をする。 収穫した野菜を観察し、形や色などについて簡単な言葉や身振り等で伝える。 観察シートの色塗りをする。 収穫する野菜の名前を知り、楽しく野菜を収穫する。
	9	<p>(知及技) 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。(小1段階-サ 生命・自然-イ)</p> <p>(思判表力) 身の回りにある生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとするができる。(小1段階-サ 生命・自然-ア)</p> <p>(学・人) 身の回りの生命や自然に興味をもって、学習に取り組むことができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技) 興味を持って動物を観察したり、触れたりしている。</p> <p>(思・判・表) 動物を観察したり、触れたりして、見たこと感じたことを簡単な言葉や身振り、写真等で伝えている。</p> <p>(主学) 興味をもって、進んで動物を観察したり触れたりしようとしている。</p>	<p>単元3 「動物とふれあおう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 動物園の動物を観察したり、触れたりする。 動物園で見た動物について、簡単な言葉や身振り等で伝える。 実際に観察したり、触れたりした動物の写真に視線を向けたり、指さしたりする。 事前にさまざまな動物を写真や動画で見て、知る。
年間を通して	<p>(ア、基本的な生活習慣)</p> <ul style="list-style-type: none"> 食事（食事前の衛生、配膳、食後の片付け、食事のマナーや態度） 用便（尿意・便意の合図、用便の手順、用便後の衛生、男女の区別、施設） 身なり（衣服の着脱、長靴等の身に付け方、前後の裏表、身だしなみ） 清潔（洗面、歯磨き、手洗い、タオルで拭く） 身の回りの整頓（持ち物の整理、使った物の整理、決められた場所に置く） <p>(ウ、日課・予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日課・予定（簡単な日課に気づく、下校後の明日の予定） <p>(エ、遊び)</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな遊び（好きな遊び、ごっこ遊び、遊具、簡単なルールのある遊び、道具の後片付け） <p>(カ、役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> 集団の参加や集団内での役割（行事、集団活動の慣れ、学級・学年・異年齢集団、係活動） <p>(キ、手伝い・仕事)</p> <ul style="list-style-type: none"> 手伝い・仕事（物を配る、所持品の整理、清掃、後片付け） <p>(ケ、きまり)</p> <ul style="list-style-type: none"> きまり（自分の物と他人の物の区別、学校のきまり、日常生活のきまり） <p>(ク、生命・自然)</p> <ul style="list-style-type: none"> 天気（晴れや雨などの天候の変化に気づく） 				
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 小学部1年（Ⅱ課程）国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
238	1年生 26人		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。(小1段階)</p> <p>(思判表力) 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる。(小1段階)</p> <p>(学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。(小1段階)</p>
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	42	<p>(知及技) 遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れることができる。(小1段階 イ我が国の言語文化(イ))</p> <p>(思判表力) 身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。(小1段階A聞くこと・話すことイ)</p> <p>(学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。(小1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 声や音、言葉の響きやリズムを体感したり、楽しんだりしている。</p> <p>(思・判・表) 教師の呼びかけに対して、注目したり、応答したりしている。</p> <p>(主学) 言葉や動作を繰り返したり、言い方などを変えようとしている。</p>	<p>単元1 「呼んでみよう、答えてみよう」 ・おおかみさん</p> <p>単元2 「魔法の箱」 ・何が出てくるかな？ ・真似してみよう</p> <p>単元3 「真似してみよう」 ・ひげじいさん ・おおきなくりの木の下など</p>	<p>・歌に合わせて歩いたり、呼びかけに対する応答遊びなどを行う。</p> <p>・箱の中に児童の好きな物や興味のあるものなどを入れておき、箱から物を出す様子に注目できるようにする。 ・呼びかけに対する応答遊び、音まね遊びなどを行う。</p> <p>・節を付けて歌ったり、動作化したりして、言葉の楽しさを感じる。</p>
	42	<p>(知及技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。(小1段階 ア言葉の特徴や使い方(イ))</p> <p>(思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。(小1段階C読むことア)</p> <p>(学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。(小1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 教師の言葉かけに耳を傾け、提示された物に視線を向けたり、表情を変えたりなどして、注意を向けている。</p> <p>(思・判・表) 絵本や写真、絵、映像などを見て、身近にある物や動物などが表現されていることに気付いている。</p> <p>(主学) 見たものや感じたことを言葉や動作などで表現しようとしている。</p>	<p>単元4 「いろいろなものを見たり、触ったりしよう」 ・何があるかな？ ・</p>	<p>・実物を見たり、触ったりする。 ・知っている物や身近にあるものなどが出てくる絵本や写真、映像などを見て、対象に気付く。</p>
2 学期	32	<p>(知及技) 読み聞かせに注目し、色々な絵本などに興味をもつことができる。(小1段階 イ我が国の言語文化に関すること(エ))</p> <p>(思・判・表) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。(小1段階A聞くこと・話すことウ)</p> <p>(学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。(小1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 提示した絵本などに注目したり、言葉や効果音に注意を向けている。</p> <p>(思・判・表) 絵や写真などを見て、教師が言った事物などに視線を向けたり、指さしたりしている。</p> <p>(主学) 自分の思いや要求などを言葉や動作などで伝えようとしている。</p>	<p>単元1 「何が出るかな？」 ・やさいさん ・くだものさん など</p>	<p>・擬態語や擬声語の多い絵本や繰り返しのある絵本などの絵本の読み聞かせを行う。 ・いろいろな場面の写真やイラストの中から、提示したのを見たり、指さしたりする。</p>
	31	<p>(知及技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。(小1段階 ア言葉の特徴や使い方(イ))</p> <p>(思判表力) 身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。(小1段階B書くことア)</p> <p>(学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。(小1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 実物や写真、絵などを見て、言葉や動作で表現している。</p> <p>(思・判・表) 見聞きしたことや感じたことを、絵や写真などから選んだり、動作等で表現しようとする。</p> <p>(主学) 自分の思いや思ったことを、相手に伝えようとしている。</p>	<p>単元2 「選んでみよう」 ・どれが好きかな？ ・何が楽しかったかな？ ・伝えてみよう</p>	<p>・実物や写真などから好きな物や楽しかったことを選ぶ。 ・いろいろな物を言葉や動作で表現する。</p>
	31	<p>(知及技) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。(小1段階 ア言葉の特徴や使い方(ア))</p> <p>(思判表力) 教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現することができる。(小1段階A聞くこと・話すことア)</p> <p>(学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。(小1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 言葉を使うことで、相手の反応に変化があることに気付く。</p> <p>(思・判・表) 簡単な言葉や音声、動作模倣などをしている。</p> <p>(主学) 発語や発声などで、相手に伝えようとしている。</p>	<p>単元3 「おーい」 ・バス ・車 ・公園</p>	<p>・事物や事柄を見て、指さしたり、「おーい」と呼びかけたりする。 ・いろいろな写真や絵などを見て、教師と一緒に登場人物の音声や動作を模倣する。</p>

3 学期	30	<p>(知及技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりできる。(小1段階 ア言葉の特徴や使い方(イ))</p> <p>(思判表力) 絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現できる。(小1段階C読むことイ)</p> <p>(学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。(小1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 言葉と事物を結びつけている。</p> <p>(思・判・表) 物の名称などを聞いて、その対象を指さしたり、視線などを向けてたりしている。</p> <p>(主学) 自分の思いや思ったことを、相手に伝えようとしている。</p>	<p>単元1 「何があるか探してみよう」 ・知っているものはあるかな？ ・〇〇を探せ！</p> <p>単元2 「何をしているかな？」 ・おはようございます ・いただきます ・おやすみなさい</p>	<p>・実物や写真、イラストなどの中から、教師が言った事物や事柄を探す。</p> <p>・いろいろな生活場面を見て、教師が言った事物や事柄を探す。</p>
	30	<p>(知及技) いろいろな筆記用具に触れ、書くことを知ることができる。(小1段階イ(ウ)㊦)</p> <p>(思判表力) 文字に興味をもち、書こうとすることができる。(小1段階B書くことイ)</p> <p>(学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとすることができる。(小1段階ウ)</p>	<p>(知・技) クレヨンやクーピー、鉛筆やペンなどを使い、線などが書けることに気付いている。</p> <p>(思・判・表) 自分なりの書き方で書こうとしている。</p> <p>(主学) いろいろな線や形を自由に書こうとしている。</p>	<p>単元3 「書けるかな？」 ・いろいろな筆記用具で書いてみよう</p> <p>単元4 「ぐるぐる」 ・いろいろな線を書いてみよう</p>	<p>・興味・関心のある筆記具(クレヨン、ペン、チョーク)を使い、黒板やとりのこ用紙などに自由に書く。</p>
	留意点 引継ぎ等				

令和5年度 小学部 1年（Ⅱ課程）算数科 年間指導計画

単位数 配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
136	1年生 26名		さんすう☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技)身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりして、上下や前後、形の違い、量の大きさに気付くとともに、数量に関心をもって関わることについての技能を身につけることができる。(小1段階)</p> <p>(思判表力)身の回りのものの有無や数的要素、ものの形、大きさや長さなどの量の違いに注目し、数量や図形に関心をもって関わるとともに、形の違いを捉えたり、量の大きさにより区別したりすることができる。(小1段階)</p> <p>(学・人)数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとすることができる。(小1段階)</p>
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	<p>(知及技) 具体物に気付けて指を差したり、つかもうとしたり、目で追ったりすることができる。(小1段階A数量の基礎ア(ア)㉞)</p> <p>(思判表力) 対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協働させながら捉えることができる。(小1段階A数量の基礎ア(イ)㉞)</p> <p>(学・人) 対象物に興味関心を示し、言葉かけを聞いて取り組もうとすることができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技) 言葉を聞いてそのものを指さしたり、つかんだり、目で追ったりしたりしている。</p> <p>(思・判・表) 聴覚、視覚、触覚などの感覚で対象物に注意を向け、手先を使ってその物をつかんだり、指さしたりしている。</p> <p>(主学) 教師の言葉かけを聞いて、対象物に注意を向け、自ら取り組もうとしている。</p>	単元1(数量の基礎) 「さわってみよう」 「さがしてみよう」 「よく見てみよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・ものへの指さし、つかむ、目で追う。 ・興味のあるものを箱や布の下から取り出した後、押す、引っ張る等の操作する活動を行う。操作する面白さに気付く。 ・プットイン教材、音絵本等
	10	<p>(知及技) ものの有無に気付くことができる。(小1段階B数と計算ア(ア)㉞)</p> <p>(思判表力) 数詞ともとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。(小1段階B数と計算ア(イ)㉞)</p> <p>(学・人) ものの有無や因果に気付き、自ら具体物等を操作したり、他者に働きかけたりして、取り組むことができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技) プットイン教材等の具体物を操作して、物がある状態から無い状態に気付き、注意を向けている。</p> <p>(思・判・表) ものの有無や因果に気付けて、プットイン教材等の具体物を操作している。</p> <p>(主学) 教師に具体物の教材を操作するよう働きかけたり、自ら具体物を操作することに興味を示し、取り組もうとしている。</p>	単元2(数と計算) 「ある？ない？わかるかな」	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を操作し、ものが減少することや無くなったことを言葉で真似たり、自発的に言ったりする。 ・お皿に入っているたくさんのビー玉を1個ずつ別の容器に入れていき、ビー玉の数が減少して、お皿の中にビー玉がなくなることに気付く。
	12	<p>(知及技) 形を観点に区別することができる。(小1段階C図形ア(ア)㉞)</p> <p>(思判表力) ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもつことができる。(小1段階C図形ア(イ)㉞)</p> <p>(学・人) 形の違いに気付き、形に興味をもって取り組むことができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技) 視覚や触覚などの観点をもとに、赤白帽や食器等具体物の異なる1種類ものを区別している。</p> <p>(思・判・表) 赤白帽や食器等の具体物を分けてかごに入れようとしている。</p> <p>(主学) 形の違いに気付き、自ら関心を示して分類することに取り組もうとしている。</p>	単元3(図形) 「おなじものをさがそう」	<ul style="list-style-type: none"> ・明確に異なる1種類のものから始め、少しずつ量を増やしたり似ているものにしたりして発展させる。 ・自分の持ち物を所定の場所に置く、給食食器の分類、買物ごっこ等
	13	<p>(知及技) 大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別することができる。(小1段階D測定ア(ア)㉞)</p> <p>(思判表力) 大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。(小1段階D測定ア(イ)㉞)</p> <p>(学・人) 大きさや長さ、大小、多少等の言葉や区別することに興味関心を示し、学習に取り組むことができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技) 大小のボールや大小の箱の大きさの基準に対して同じか違うかを区別している。</p> <p>(思・判・表) 教師の言葉かけの大きい、小さいに注目して区別したり、言葉や身振り等で他者に伝えようとしていたりしている。</p> <p>(主学) 大きさを区別することや言葉で伝えることに、進んで取り組もうとしている。</p>	単元4(測定) 「大きさの違うものを運んでみよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・大小のボールや大小の箱運びを通して大きさの違いに気付く。 ・視覚的、触覚的に明らかに異なる「大きい・小さい」「多い・少ない」を具体物を通して、数多く体験させる。

2 学期	12	<p>(知・技) ものともを対応させて配ることができる。(小1段階A数量の基礎イ(ア)㊟)</p> <p>(思・判・表) ものともを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすることができる。(小1段階A数量の基礎イ(イ)㊟)</p> <p>(学・人) もの同士を対応させることが分かり、進んでいるいろいろな具体物を配ることができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技) 具体物を1対1と対応させて、物を配ろうとしている。</p> <p>(思・判・表) 同じお皿やかごなどのものの属性に注目して仲間であることを判断して配ろうとしている。</p> <p>(主学) 教師の言葉かけを聞いて、もの同士を対応させて、進んでいるいろいろな物を配ろうとしている。</p>	<p>単元5 (数量の基礎) 「一つずつあわせてみよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1対1対応の理解を促す。 ・給食時の配膳。(牛乳を1個ずつ等) ・製氷皿や箱等に1つつボールを入れる等 ・かご、ボール、ブロック、タッパ、皿、箱等の具体物を慣れてきたら変化させる。
	14	<p>(知・技) 5までの範囲で数唱をすることができる。(小1段階B数と計算ア(ア)㊟)</p> <p>(思・判・表) 数詞ともとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。(小1段階B数と計算ア(イ)㊟)</p> <p>(学・人) 数唱することに興味を示し、声を出して進んで取り組むことができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技) 数え歌に合わせて、教師と一緒に声をだして数唱している。</p> <p>(思・判・表) 数え歌に合わせて身振りで表現したり、具体物を指でさしたり、入れ物に入れたりしようとしている。</p> <p>(主学) 自ら声をだしたり、身振りで表現したりして取り組もうとしている。</p>	<p>単元6 (数と計算) 「かぞえてみよう、5までの数唱」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数え歌に合わせて指で数量を示したり、具体物を指でさしたり、入れ物に入れたりして数える活動を行う。 ・「パン屋のメロンパン」等の手遊び歌、「どうぶつ1・2・3」等の絵本教材、合図でくす玉を割ったり、風船を飛ばしたり等 ・ボウリングゲーム、魚釣りゲーム等 ・カードを見ながら教師と一緒に数唱する。
	12	<p>(知・技) 形が同じものを選ぶことができる。(小1段階C図形ア(ア)㊟)</p> <p>(思・判・表) ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもつことができる。(小1段階C図形ア(イ)㊟)</p> <p>(学・人) 色々な形や色、大きさに気付き、図形に興味をもって取り組むことができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技) 形の違いに気づき、同じ形を探して選ぶようとしている。</p> <p>(思・判・表) ○△□が分かり、○△□の型はめや、絵カードを操作して同じものに分類しようとしている。</p> <p>(主学) 進んで教材を取り出し、興味をもって図形の学習に取り組もうとしている。</p>	<p>単元7 (図形) 「おなじ、ちがうをさがそう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・○△□の型はめやプットイン玩具の操作を通して形の相違に気付かせる。 ・ブラックボックスで中身をあてる等(果物、玩具等) ・形のマッチングや分類を行う。
	13	<p>(知・技) 大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別することができる。(小1段階D測定ア(ア)㊟)</p> <p>(思・判・表) 大小や多少等で区別することに関心をもち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。(小1段階D測定ア(イ)㊟)</p> <p>(学・人) 大きさや長さ、大小、多少等の言葉や区別することに興味関心を示し、学習に取り組むことができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技) 具体物の操作を通して、大きさや長さの違いに気付いている。</p> <p>(思・判・表) 具体物の操作を通して、大きさや長さの違いに気付く、それぞれに分けて入れようとしている。</p> <p>(主学) 大きさや長さを区別することや言葉で伝えることに、進んで取り組もうとしている。</p>	<p>単元8 (測定) 「おなじ大きさで合わせてみよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入れ口の大きさを具体物に合わせる。 ・操作を通して、大きさの違いに気付く。 ・爪楊枝と竹串、ビー玉とピンポン玉等のプットイン教材等、具体物を操作することを通して違いに気付かせる。
3 学期	13	<p>(知・技) 分割した絵カードを組み合わせたることができる。(小1段階A数量の基礎イ(ア)㊟)</p> <p>(思・判・表) ものともを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすることができる。(小1段階A数量の基礎イ(イ)㊟)</p> <p>(学・人) パズルに興味を示し、自ら進んで一定時間、取り組むことができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技) 2分割した絵カードを組み合わせたようとしている。</p> <p>(思・判・表) 数種類ある分割した絵カードの上下や色の違い等に注目して、同じ物を探して組み合わせようとしている。</p> <p>(主学) 教師にやりたいことを身振りや言葉等で伝え、自ら進んでパズルに取り組もうとしている。</p>	<p>単元9 (数量の基礎) 「パズルをやってみよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上下や色の違いの分かりやすいいろいろな車や果物のイラストで行う。 ・2分割からはじめ、徐々にパズル片を増やしたり、数種類の中からでも選んだりできるようにする。
	14	<p>(知・技) 3までの範囲で具体物を取ることができる。(小1段階B数と計算ア(ア)㊟)</p> <p>(思・判・表) 数詞ともとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。(小1段階B数と計算ア(イ)㊟)</p> <p>(学・人) 3までの数や具体物に興味をもって取り組むことができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技) 3までの数を聞いて、おはじき等を取ろうとしている。</p> <p>(思・判・表) 教師の言葉かけを聞いて、いろいろな具体物の3までの数を取って渡そうとしている。</p> <p>(主学) 3までの数や具体物に興味関心を示し、自ら活動に取り組もうとしている。</p>	<p>単元10 (数と計算) 「3までの数」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に3個までのおはじき等を数えたり、取ったり渡したりする活動を行う。 ・身の回りの数を教師と一緒に数えたり、言われた物の数を取ったり、渡したりする。
	13	<p>(知・技) 似ている二つのものを結びつけることができる。(小1段階C図形ア(ア)㊟)</p> <p>(思・判・表) 対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉えることができる。(小1段階C図形ア(イ)㊟)</p> <p>(学・人) 似ている物に興味関心を示し、言葉かけを聞いて結びつける活動に取り組むことができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技) 赤いボールと野球ボールの○という共通する特徴に気付いて、具体物の中から取ろうとしている。</p> <p>(思・判・表) いくつかの具体物の中から、指定された言葉や具体物を聞き分け、似ている具体物を選ぶようとしている。</p> <p>(主学) 似ている物の活動に興味を示し、進んで取り組もうとしている。</p>	<p>単元11 (図形) 「似ているものを集めてみよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グローブ、バット、帽子、野球ボールの中から、赤い丸いボールと似ている物を選びつけて取る等の学習を教師と一緒に取り組む。 ・丸い形から始め、徐々に慣れてきたら四角、三角等でも上記と同じような学習を行う。
留意点 引継ぎ等					

令和 5 年度 小学部 1年 (II 課程) 音楽科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
51	1 学年 26名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技)音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けることができる。(小1段階)</p> <p>(思判表力)音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができる。(小1段階)</p> <p>(学・人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする事ができる。(小1段階)</p>
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	12	<p>(知及技)様々な音や音楽に気付き、音や音楽を感じて体を動かすことができる。(小音1段階A表現ア(ウ)-ア)</p> <p>(思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。(小音1段階A表現ア(ア))</p> <p>(学・人)教師と一緒に身体表現をする楽しさを感じるとともに、自分なりに表現してみようとする事ができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技)曲中の特徴的な音や歌詞に気付き、体を動かすことができる。</p> <p>(思・判・表)曲のリズムに合わせてたり、教師の動きを模倣したりしながら、曲の一部分を体を動かして表現することができる。</p> <p>(主学)音楽を介して、教師や友達と手を繋いだり、体を動かしたりすることを楽しみながら、学習に参加しようとしている。</p>	<p>【音楽遊び(身体表現)】 単元1：たのしく おどろう</p> <p>単元2：手遊びをしよう</p>	<p>・イラストや教師の示範を見て、体を揺らしたり、手足を動かしたり、ジャンプをしたりするなどの全身を使った身体模倣 (1学期) 「学年ダンス：チャオ！チャオ！チャオ！」 (2学期) 「とんぼのめがね」「バナナ体操」 (3学期) 「かもつれっしゃ」</p> <p>・音楽に合わせて手拍子したり、手指を動かしたり、身体部位に触れたりする身体模倣 (ミュージックケア) (1学期) 「おなかをポンポン」「パンパン」 (2学期) 「くるっくるっ」 (3学期) 「ギリギリ」「お弁当箱の歌」</p>
	13	<p>(知及技)様々な音や音楽に気付き、音や音楽を感じて楽器の音を出すことができる。(小音1段階A表現ア(ウ)-イ)</p> <p>(思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。(小音1段階A表現ア(ア))</p> <p>(学・人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に楽器の音を出す楽しさを感じるとともに、自分なりに鳴らしてみようとする事ができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技)教師の促しを受けながら、部分的に楽器の音を出すことができる。</p> <p>(思・判・表)音楽や教師の合図に合わせてながら、楽器を鳴らそうとしている。</p> <p>(主学)自分で楽器を持ち、自分なりの方法で楽器を鳴らしてみようとしている。</p>	<p>【音楽遊び(器楽)】 単元3：楽器を ならそう</p>	<p>・楽器の名前や持ち方、鳴らし方 ・教師の動きを模倣したり、曲や合図に合わせてたりしながら楽器を鳴らす</p> <p>(1学期) 「パンパン」タンブリン (2学期) 「げんきに げんきに」鈴 「うみ」タンブリン (3学期) 「かわいいカスタネット」カスタネット</p>
	13	<p>(知及技)様々な音や音楽に気付き、音や音楽を感じて声を出すことができる。(小音1段階A表現ア(ウ)-ウ)</p> <p>(思判表力)音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。(小音1段階A表現ア(ア))</p> <p>(学・人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、歌ってみようとする事ができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技)曲中の発声する箇所が分かり、教師の口形を模倣したり、声を出したりすることができる。</p> <p>(思・判・表)曲に合わせて発声したり、歌詞の一部分を歌ったりすることができる。</p> <p>(主学)曲中の発声する箇所を期待したり、何度も声を出そうとしたりしようとしている。</p>	<p>【音楽遊び(歌唱)】 単元4：歌に合わせて 声を出そう</p>	<p>・教師の示範を見聴きして、歌うときの口の開け方や発声の仕方。</p> <p>(1学期) 「おやつたーべよ」「たなばた」 (2学期) 「やきいもグーチャーパー」 「あくびのうた」「アイアイ」 (3学期) 「せつぶん」「うれしいひなまつり」 「もちつき」「あいうえお ともだち」</p>

13	<p>(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。(小音1段階B鑑賞ア-(1))</p> <p>(思判表力) 音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとする事ができる。(小音1段階B鑑賞ア-(7))</p> <p>(学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、自分なりに表現してみようすることができる。(小1段階)</p>	<p>(知・技) 音や音楽を聴いて、使われている楽器などを選ぶことができる。</p> <p>(思・判・表) 歌やお話を見聴きしながら、声を発したり、歌ったり、動作を真似したりして楽しむことができる。</p> <p>(主学) 教師と一緒に、音楽に合わせて体を動かしたり、リズムを取ったりするなど、自分なりの楽しみ方で学習に参加しようとしている。</p>	<p>【鑑賞】</p> <p>単元5：絵を見て お話を聴こう (パネルシアター・エプロンシアターなど)</p> <p>単元6：みみを すまそう (音楽づくり・鑑賞曲)</p>	<p>・曲の中でのセリフを言ったり、手拍子などでリズムを取ったりしながら、体全体で曲の雰囲気を感じ、自分なりの楽しさを見つける。 (1学期) 「だから あめふり」「たなばたさま」 (2学期) 「すてきな 帽子屋さん」「真夏のおばけたち」 (3学期) 「くまさんのぼうし」「かわいいひよこ」</p> <p>・特徴的な音やリズムに興味を持って聴くこと。 ・曲の雰囲気を感じながら、自分なりに体を動かして表現すること。 (1学期) 「月桃」 (2学期) 「そりすべり」 (3学期) 「シンコパーデッド クロック」</p>
留意点 引継ぎ等				

令和5年度 小学部 1年 (II課程) 図画工作科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
51	1学年 26人		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)色や形などに気付き、材料や用具を使おうとすることができる。(小1段階) (思判表力)表したいことを思い付いたり、作品を見たりすることができる。(小1段階) (学・人)進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする事ができる。(小1段階)
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
一学期	18	【A表現】 (知及技)身の回りの自然物などに触れながら、切る、ぬる、はるなどすることができる。(小1段階-A表現 ア(イ)) (思判表力)材料などから、表したいことを思い付くことができる。(小1段階-A表現 ア(ア)) (学・人)進んで表したり見たりする活動に取り組み、作り出す楽しさに気付くことができる。(小1段階)	(知・技)材料に触ってみようでは、片栗粉や土、粘土などの様々な材料の感触に慣れ、手指を使って握ったり、道具を使ったりしている。 (思・判・表)材料に触れてその特性から型にはめようとしたり、跡をつけようとしたりしている。 (主学)心地よい感触の材料に自ら触れて興味を示し、楽しく活動に参加しようとしている。	単元1 「感触遊び」 ・触ってみよう(片栗粉、土、粘土) ・自由遊び	色々な感触に慣れて握ったり道具を使って遊んだりする。 ・材料に触って遊ぼう ・道具を使って遊んでみよう 材料…片栗粉、土、粘土、型はめ、水、バケツ、雑巾など
		(知・技)色水作りでは、材料を見つめて色の変化に気付いている。 (思・判・表)色水作りでは、色と色を合成していくことで新しい色を作り出したり、作りたい色を思い付いたり、色水を並べたりしている。 (主学)色に興味や関心をもって、色水を作り出す楽しさに気付いている。	単元2 「色を作って遊ぼう」 ・色水作り ・色を作って並べよう	水の入ったペットボトルに色を表現する。 ・赤、青、黄色の色水を作ってみよう ・好きな色を作ってみよう。 ・作った色水を混ぜて注いだり、並べたりする。 材料…水、ペットボトル、プラスチックコップ、絵の具、雑巾など	
二学期	20	【A表現】 (知及技)身の回りの自然物などに触れながら、切る、ぬる、はるなどすることができる。(小1段階-A表現 ア(イ)) (思判表力)材料などから、表したいことを思い付くことができる。(小1段階-A表現 ア(ア)) (学・人)進んで表したり見たりする活動に取り組み、作り出す楽しさに気付くことができる。(小1段階)	(知・技)身の回りの物に触れて、形の感じをとらえたり、材料や色をみつめたりして形や色の変化に気付いている。 (思・判・表)道具を操作してできた線や形から、自分なりの表現方法を思い付いたり、制作方法を選んだりしている。 (主学)色や形の変化、表現方法に興味をもって、作品を作ったりみたりすることをしようとしている。	単元3 「いろいろな線や形をうつそう」 ・線や形をうつしてみよう(スタンプ遊び) ・形をうつしてみよう2(ステンシル技法)	形をうつしたり形を見立てたりする。 ・身近な材料を使って、画用紙に形をうつす。 ・○△□などの形のある材料を画用紙にのりで貼り付け、好きな色をぬって、はいだら形が浮かび上がることに気付く。 ・好きな形を組み合わせると意味づけをする。 材料…画用紙、マジック、クレヨン、絵の具、パレット皿、スポンジ、型ぬき、プリン型の型、トイレトーパーの芯、雑巾など
		(知・技)身の回りの物に触れて、形の感じをとらえたり、材料や色をみつめたりして形や色の変化に気付いている。 (思・判・表)道具を操作してできた線や形から、自分なりの表現方法を思い付いたり、制作方法を選んだりしている。 (主学)色や形の変化、表現方法に興味をもって、作品を作ったりみたりすることをしようとしている。	単元3 「いろいろな線や形をかいてみよう」 ・水を使ってアスファルトにかいて遊ぼう ・チョークを使ってアスファルトにかいて遊ぼう	線や形を地面や壁にかいて遊ぶ。 ・地面の色が水やチョークを使うことで変化したり、線や形に気付いたりする。 ・身近なものが道具になることに気付く。 材料…バケツ、水、チョーク、ブラシ、木の枝、袋など	
		(知・技)身の回りの物に触れて、形の感じをとらえたり、材料や色をみつめたりして形や色の変化に気付いている。 (思・判・表)道具を操作してできた線や形から、自分なりの表現方法を思い付いたり、制作方法を選んだりしている。 (主学)色や形の変化、表現方法に興味をもって、作品を作ったりみたりすることをしようとしている。	単元4 「色をぬって遊ぼう」 ・巨大なキャンパスに色をぬってみよう ・色々な道具を使って色をぬってみよう	色をぬったり、線や形をかいたりする。 ・好きな色を使って自由にぬったりかいたりする。 ・ローラーやハケなどの道具を使ってぬったりかいたりする。 材料…とりのこ用紙、クレヨン、絵の具、マジックペン、パレット皿、スポンジ、ローラー、ハケ、雑巾など	

三学期	13	【A表現】 (知及技)身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどすることができる。(小1段階-A表現 ア(イ)) (思判表力)材料などから、表したいことを思い付くことができる。(小1段階-A表現 ア(ア))	(知・技)粘土の形を変える活動では、手指を使って粘土をこねたり、伸ばしたりしている。 (思・判・表)粘土と道具を組み合わせて、好きな色を混ぜてこねたり、思いついた色をぬったりしている。 (主学)心地よい感触の材料に自ら触れて興味を示し、色や形の変化を楽しみながら、作品作りに取り組んでいる。	単元5 「クッキーやさんになろう」 ・粘土をこねたりのばしたりしよう ・道具を使って粘土から形をとろう ・形の粘土を並べよう	粘土をこねたり伸ばしたりして色をつけたりして形のあるものを作る。 ・粘土をこねたりのばしたりする。 ・手指や道具を使って粘土を形のあるものにする。 ・好きな色を混ぜたり、粘土が固まった後にぬったりする。 材料…紙粘土、絵の具、パレット皿、筆、ハケ、粘土ペラ、型ぬき、粘土板、雑巾など
		(学・人)進んで表したり見たりする活動に取り組む、作り出す楽しさに気付くことができる。(小1段階)	(知・技)クレヨンや絵の具を使って画用紙に線や模様、形を描こうとしている。 (思・判・表)手指や道具を操作してできた形を感じたり、表したい形を思い付いたり、配色を選んで作品を作ろうとしたりしている。 (主学)作品づくりに、興味を持ち、作り出す楽しさを見出しながら、自ら学習に取り組もうとしている。	単元6 「楽しかった思い出を絵にかいてみよう」 ・校外学習の思い出 ・1年間の思い出	楽しかった出来事を思い出して、画用紙に線や形をかいて表現する。 ・楽しかった思い出を写真などで振り返り、線や形にしてイメージをもってかく。 材料…とりのご用紙、クレヨン、絵の具、マジックペン、パレット皿、スポンジ、ローラー、ハケ、雑巾など
年間を通して		【A表現】 (知及技)身の回りの自然物などに触れながらかく、切る、ぬる、はるなどすることができる。(小1段階-A表現 ア(イ)) (思判表力)材料などから、表したいことを思い付くことができる。(小1段階-A表現 ア(ア)) (学・人)進んで表したり見たりする活動に取り組む、作り出す楽しさに気付くことができる。(小1段階)	(知・技)制作活動では、手指や道具を使ってぬったり、はったり、描いたりしている。 (思・判・表)制作活動では、手指や道具を操作してできた形を感じたり、表したい形を思い付いたり、配色を選んで作品を作ろうとしたりしている。 (主学)作品づくりに、興味を持ち、作品を見つめたり握ったりして作品を作り出す楽しさを感じている。	単元3 「季節や行事のかざりやプレゼントづくり」 ・鯉のぼりを作ろう ・母の日のプレゼント制作 ・父の日のプレゼント制作 ・七夕のかざりを作ろう ・敬老の日のプレゼント制作 ・ハロウィンのかざりを作ろう ・クリスマスのかざりを作ろう ・正月のかざりを作ろう ・節分のかざりを作ろう ・ひな祭りのかざりを作ろう	プレゼントや飾りを作って表現する。 ・絵の具感触に慣れ、画用紙に手形をつけたり、自分の手形を見たりする。 ・形のあるビーズや折り紙を手指や道具を使って貼り付ける。 ・折り紙、紙コップ、朝顔の押し花など身近なものを使って作品作りをする。 ・季節の歌や映像をみて作品のイメージをもてるようにする。 教師や友だちの作品を見る。 材料…紙粘土、ビーズ、テープ、画用紙、紐、はさみ、袋、のり、雑巾、クレヨンなど
		【B鑑賞】 (思判表力)身の回りにあるものなどを見ることができる。(小1段階-B鑑賞ア(ア))	(思・判・表)自分や友だちの作品を見たり触れたりした時に表情を変えたり、色々な角度から覗き込んだりして関心を持っている。	単元11 ・作品を鑑賞しよう	・出来上がった作品を見える位置に提示してみんなで見る活動をする。
		【共通事項】 (知及技)形や色などの感じに気づくことができる。(小1段階-共通ア(ア)) (思判表力)形や色などの感じを基に、自分のイメージを持つことができる。(小1段階-共通ア(イ))	(知及技)自分が見たり触ったりすることで、形や色などの感じに気づいている。 (思・判・表)自分が行ったことによってできた形や色などの感じを基に、自分のイメージを持つとうとしている。		
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 小学部1年（Ⅱ課程） 体育科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
68	1年生 26名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができる。(小1段階) (思判表力) 体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。(小1段階) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりすることができる。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技) 教師と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かすことができる。(1段階-A体づくり運動遊びA) (思判表力) 手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階-A体づくり運動遊びイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、体づくり運動遊びをしようとする事ができる。(1段階-A体づくり運動遊びウ)	(知・技) 教師の支援を受けながら、歩いたり、走ったり、止まったりなどの易しい運動に繰り返し取り組んでいる。 (思・判・表) 一緒に活動している教師に、表情や身振り、アイコンタクト、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 教師の簡単な合図や指示に従って、運動遊びをしようとしている。	単元1 「体を動かそう」	・ウォーミングアップやリズム等の音楽に合わせて、歩く、走る、止まる、ジャンプなどの基本の動きを行う。 ・未分化でやさしい運動から始め、転がる、はう、跳ぶ、またぐなどの運動を行う。 ・バランスを取る、座る、しゃがむ、階段の上り下りなどの日常生活の基本的な身体活動を繰り返し、十分に体験させる。 ・手足を十分に伸ばしたり曲げたり、脚を前後左右に開いたり、腕を振ったり回したりするなど、簡単な手や足の運動も取り入れる。 ・笛や太鼓などの楽器や児童が理解できる簡単な言葉かけ、絵カードなどを見たり聞いたりすることによって、動きを真似したり、集まったり、並んだりする。
	4	(知及技) 教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。(1段階-B器械・器具を使つての遊びA) (思判表力) 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階-B器械・器具を使つての遊びイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使つての遊びをしようとする事ができる。(1段階-B器械・器具を使つての遊びウ)	(知・技) 教師の支援を受けながら、固定遊具などの器械・器具を使って、繰り返し遊んでいる。 (思・判・表) 一緒に活動している教師に、表情や身振り、アイコンタクト、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 教師の簡単な合図や指示に従って、器械・器具で遊ぼうとしている。	単元2 「遊具で遊ぼう」	・ジャングルジムやブランコ、トランポリンなどで、いろいろな動きを経験しながら遊ぶ。(登り下り、ぶら下がり、前後の揺れ、上下の揺れなど) ・滑り台の階段を上り、高いところから低いところへ降りるスピードを感じながら滑る。 ・プレイルームにあるプラズマカーやキャスターボード、ファシリティーボールなどを使い、体を動かしたりバランスを取ったりして遊ぶ。 ・ゆらゆら揺れる橋を、両サイドの手すりをつかみ、落ちないようにバランスを取りながら渡る。
	12	(知及技) 教師と一緒に、水の特性を生かした簡単な水遊びを楽しむことができる。(1段階-D水遊びA) (思判表力) 水の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階-D水遊びイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとする事ができる。(1段階-D水遊びウ)	(知・技) 水の浮力によって、ものが浮いたり、沈んだりしたり、水温の違いによって、温かい、冷たいと感じたりしながら遊んでいる。 (思・判・表) 一緒に活動している教師に、表情や身振り、アイコンタクト、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 教師の簡単な合図や指示に従って、安全に水で遊ぼうとしている。	単元3 「水遊びをしよう」	・プールの周りでじょうろを使って遊ぶ。 ・個々の状態に適した浅い深さのプールの中で、遊具を浮かべたり沈めたりして遊ぶ。 ・水をすくったり、かけたりして遊ぶ。 ・水をすくって体の様々な部分にかけたり、様々な方向に飛ばしたり、友達や教師とかけ合ったりする。 ・顔に水がかかると慣れる。 ・教師と一緒に、安心して水に触れたり、水に入ったりする。 ・教師に体を支えてもらいながら、水の浮力や抵抗を感じながら遊ぶ。 ・プールへ入るときの流れや約束を知る。 ・プールでの約束を守りながら、安全に遊ぶ。
	4	(知及技) 教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。(1段階-C走・跳の運動遊びA) (思判表力) 走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階-C走・跳の運動遊びイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとする事ができる。(1段階-C走・跳の運動遊びウ)	(知・技) 教師の支援を受けながら、ゴールを目指して走ったり歩いたりしている。 (思・判・表) 一緒に活動している教師に、表情や身振り、アイコンタクト、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 教師の簡単な合図や指示に従って、かけっこしようとしている。	単元1 「かけっこをしよう」	・教師と手をつないだり、併走してもらったりなどの支援を受けながら、ゴールを目指して走ったり歩いたりする。 ・スタートの合図やゴールが分かる。 ・途中で止まらずに進む。 ・真っ直ぐに進む。 ・自分の番が来るまで待つ。 ・ゴールしたときの達成感を味わう。

2 学 期	9	<p>(知及技) 教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。(1段階-B器械・器具を使つての遊び)</p> <p>(思判表力) 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階-B器械・器具を使つての遊び)</p> <p>(学・人) 簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使つての遊びをしようとする。 (1段階-B器械・器具を使つての遊び)</p>	<p>(知・技) 教師の支援を受けながら、固定遊具などの器械・器具を使って、繰り返し遊んでいる。</p> <p>(思・判・表) 一緒に活動している教師に、表情や身振り、アイコンタクト、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。</p> <p>(主学) 教師の簡単な合図や指示に従って、器械・器具で遊ぼうとしている。</p>	<p>単元2 「サーキット遊びをしよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サーキット遊びを行う。 ・四つ這いや腹這いの姿勢で、トンネルやイスの下などをくぐって遊ぶ。 ・マットに背中や腹をつけて転がったり、移動したりして遊ぶ。 ・縄やテープの上を歩いたり、踏まないようにまたいだりして遊ぶ。 ・ミニハードルを倒さないようにまたいだり、ジャンプで越えたりして遊ぶ。 ・低鉄棒を使って、ぶら下がりをして遊ぶ。 ・低い跳び箱を使って、よじ登ったり、跳び下りたりして遊ぶ。 ・上にぶら下がっている風船をジャンプして触つて遊ぶ。
	10	<p>(知及技) 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。(1段階-Eボール遊び)</p> <p>(思判表力) ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階-Eボール遊び)</p> <p>(学・人) 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとする。 (1段階-Eボール遊び)</p>	<p>(知・技) 教師の支援を受けながら、ボールを投げて、繰り返し遊んでいる。</p> <p>(思・判・表) 一緒に活動している教師に、表情や身振り、アイコンタクト、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。</p> <p>(主学) 教師の簡単な合図や指示に従って、ボールで遊ぼうとしている。</p>	<p>単元3 「ボールで遊ぼう①」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・床に置かれた少し離れたカゴをめがけて、玉を投げ入れて遊ぶ。(カゴ入れ遊び) ・少し離れた的をめがけて、ボールを当てて遊ぶ。(的当て遊び) ・色々な高さのカゴをめがけて投げ入れて遊ぶ。(玉入れ遊び) ・上手投げ、下手投げ、片足投げなど、色々な投げ方を体験させる。
	9	<p>(知及技) 教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かすことができる。(1段階-F表現遊び)</p> <p>(思判表力) 音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階-F表現遊び)</p> <p>(学・人) 簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとする。 (1段階-F表現遊び)</p>	<p>(知・技) 教師の支援を受けながら、音楽を感じ、自由に体を動かしたり、はねたり跳んだりして、体を動かしている。</p> <p>(思・判・表) 一緒に活動している教師に、表情や身振り、アイコンタクト、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。</p> <p>(主学) 教師の簡単な合図や指示に従って、運動遊びをしようとしている。</p>	<p>単元4 「リズムダンスをしよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を感じながら、自由に体を動かす。 ・音楽を感じながら、歩いたり、走ったりする。 ・音楽を感じながら、はねたり、跳んだりする。 ・リズムダンス曲に合わせて、自由に体を動かす。
3 学 期	8	<p>(知及技) 教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。(1段階-C走・跳の運動遊び)</p> <p>(思判表力) 走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階-C走・跳の運動遊び)</p> <p>(学・人) 簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとする。 (1段階-C走・跳の運動遊び)</p>	<p>(知・技) 教師の支援を受けながら、ゴールを目指して走ったり歩いたりしている。</p> <p>(思・判・表) 一緒に活動している教師に、表情や身振り、アイコンタクト、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。</p> <p>(主学) 教師の簡単な合図や指示に従って、持久走をしようとしている。</p>	<p>単元1 「持久走をしよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が方向や速さを加減しながら、教師の言葉掛けのリズムに合わせて、一定の時間や距離と一緒にゆっくり走ったり、早く走ったりする。 ・スタートの合図やゴールが分かる。 ・最後まで辛抱強く頑張れる。 ・ゴールしたときの達成感を味わう。
	8	<p>(知及技) 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。(1段階-Eボール遊び)</p> <p>(思判表力) ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階-Eボール遊び)</p> <p>(学・人) 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとする。 (1段階-Eボール遊び)</p>	<p>(知・技) 教師の支援を受けながら、ボールを、転がしたり、投げたり、蹴ったりなどして、繰り返し遊んでいる。</p> <p>(思・判・表) 一緒に活動している教師に、表情や身振り、アイコンタクト、もう一度の要求などで、楽しさや心地よさを表現している。</p> <p>(主学) 教師の簡単な合図や指示に従って、ボールで遊ぼうとしている。</p>	<p>単元2 「ボールで遊ぼう②」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリティーボールや柔らかいボールを使って、転がしたり、取ったり、止めたりして遊ぶ。 ・大玉転がしをして遊ぶ。(真っ直ぐに転がす。押す力を加減する。) ・教師の転がすファシリティーボールに当たらないように逃げて遊ぶ。(簡単ドッチボール) ・少し離れたゴールをねらって、ボールを蹴って遊ぶ。(片足でバランスをとる。強く蹴る。弱く蹴る。簡単サッカーなど)
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 小学部 1年（Ⅱ課程）【特別の教科 道徳】 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
34	1学年 26人		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(A：自分自身に関する事) ・よいことや悪いことの違いが分かり、わがままをしないで規則正しい生活を送り、できることは最後までやり抜こうとする態度を養う。(小1段階) (B：人との関わりに関する事) ・気持ちのよい挨拶や言葉使い、動作などに心がけ、身近にいる人と仲良くし、助け合う心を育てる。(小1段階) (C：集団や社会との関わりに関する事) ・約束や決まりを守り、手伝いや与えられた仕事に進んで取り組む態度を養う。(小1段階) (D：生命や自然、崇高な物との関わり) ・身近な自然に親しみ、動植物に優しく接する心を育てる。(小1段階)
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	・場面に応じた挨拶を知り、相手を意識して挨拶をする良さに気付き、あいさつをしようとする。	(B礼儀) ・元気に挨拶しよう	・「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「ごめんなさい」「ありがとう」等、場面に応じた挨拶を知る。
	3	・健康を守ることの大切さに気付き、きれいに手を洗おうとする。	(A節度、節制) ・上手に手洗い	・絵本「バイバイ菌」の読み聞かせを聞き、健康の大切さについて知る。 ・手洗いの歌で上手な手洗いを知る。
	2	・よいことと悪いことに気付き、よい行動を取ろうとする。	(A善悪の判断、自律、自由と責任) ・よいこと？悪いこと？	・読み聞かせやロールプレイを通して、よいことと悪いことについて知る。
2学期	3	・学級や学年の友達を意識して、仲良くすることの大切さに気付き、仲良くしようとする気持ちを持つ。	(B友情、信頼) ・友達と仲良く	・「くいしんぼうとおかしのいえ」のアニメーション見て、横取りをすること、仲良く分け合うことのどちらが良いか選択する。
	4	・自分の係が分かり、教師の言葉かけを受けたり、自分から進んで係活動に取り組んだりする。	(C勤労・公共の精神) ・係活動	・健康観察簿をとってきたり、返却したりする。 ・朝の会の司会や号令をかける。
	4	・簡単な決まりやルールを知り、譲り合いや順番を守ろうとする気持ちを持つ。	(C規制の尊重) ・ゆずりあいっこできるかな	・絵本「フンタンのはらんこのせて」の読み聞かせを聞き、譲り合いごっこを通して決まりを知る。
	2	・身近な人に「ありがとう」と感謝の言葉を伝える心地良さを味わい、感謝の気持ちを持つ。	(B感謝) ・働く皆さんありがとう	・働く良さを知り、身近な人へ「ありがとう」と伝える。
3学期	4	・自分の好きな事、苦手なことを知り、自分の良さに気付く。	(A個性の伸長) ・自分のことを知ろう	・自分の写真を見て、自分の良さを振り返る。好きな事、苦手な事を知る。
	3	・身近な動植物や昆虫に触れることで命あるものに気づき、命あるものを大切にしようとする。	(D自然愛護) ・動物に優しく	・身の回りの植物や昆虫に触れる。 ・動物のぬいぐるみを使用し、優しい触り方を知る。
	4	・自分の行動を振り返り、自分の頑張ったことや成長をに気づき、これからも頑張ろうとする意欲を持つ。	(A希望と勇気、強い意志) ・自分の成長を振り返ろう	・入学時から今までの写真や動画を見て、1年間の自分の成長を振り返る。
留意点 引継ぎ等	○日々の学校生活全体の中で、児童の道徳的価値の自覚を促し、道徳的実践力を育成するよう、実態を踏まえた指導を行う。 ○豊かな体験活動と関連づけた指導の工夫を行う。 ○教師と児童、児童相互の心の交流を図り、児童一人一人が意欲を持って活動できるように、学年・学校全体で組織的に取り組む。			

令和5年度 小学部 1年（Ⅱ課程）特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
34	1学年 26人		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 実践的な集団活動を通して、友達への関わり方について学び、望ましい人間関係が形成できる。(小1段階) (思判表力) 集団の一員として学校生活に必要な係に取り組むことができる。(小1段階) (学・人) 様々な集団活動を通して、よりよい学校生活を築こうとする態度を育てることができる。(小1段階)		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	(知及技) ・集団での活動に参加することができる。 ・学級、学年の一員であることを知ることができる。	学年、学級開き	学年、学級の先生、お友達の紹介
	1	(知及技) ・1学期の行事を知ることができる。	1学期がんばろう会	行事の紹介
	1	(学・人) ・学級をよりよくするための目標を教師と一緒に考えることができる。	学級目標を考えよう	学級目標をみんなで決める
	3	(思判表力) ・自分の名前、好きなもの等を教師と一緒に紹介することができる。 (学・人) ・教師と一緒に1学期の目標を考えることができる。	自分のことを考えよう	(キャリアパスポートの活用) 自己紹介シートの作成 1学期の個人目標作成
	1	(思判表力) ・集団の一員として、自分に何が出来るか教師と一緒に考えることができる。	係活動を決めよう	自分の係を決める
	1	(思判表力) ・お祝いされる喜びを感じたり、友達の誕生日を祝うことができる。	お祝いしよう	誕生日会
	1	(学・人) ・1学期にがんばったことや楽しかったことを振り返ることができる。	1学期がんばった会	1学期のふり返し、がんばったことの発表
2 学期	1	(知及技) ・集団での活動に参加することができる。	2学期がんばろう会	行事の紹介、がんばりたいことの発表
	2	(思判表力) ・2学期の行事を知り、がんばりたいことや楽しみなことを考えることができる。 (学・人) ・教師と一緒に2学期の目標を考えることができる。	自分のことを考えよう	(キャリアパスポートの活用) 2学期の個人目標作成、発表
	1	(学・人) ・お祝いされる喜びを感じたり、友達の誕生日を祝うことができる。	お祝いしよう	誕生日会
	4	(知及技) ・学習発表会について知り、活動を振り返ることができる。	学習発表会について	学習発表会の事前、事後学習
	2	(知及技) ・校外学習の日程や内容を知り、期待感を持つことができる。	校外学習に行こう	校外学習の事前学習、事後学習
	2	(知及技) ・集団での活動を楽しむことができる。	お楽しみ会を開こう	クリスマス会
	1	(思判表力) ・2学期にがんばったことや楽しかったことを振り返ることができる。	2学期がんばった会	2学期のふり返し、がんばったことの発表
3 学期	1	(知及技) ・集団での活動に参加することができる。 ・3学期の行事を知ることができる。	3学期がんばろう会	行事の紹介
	2	(学・人) ・教師と一緒に3学期の目標を考え、目標に向かって努力することができる。	自分のことを考えよう	(キャリアパスポートの活用) 3学期の個人目標作成、発表
	1	(思判表力) ・友達の誕生日を祝うことができる。	お祝いしよう	誕生日会
	3	(学・人) ・自分のことをみんなに知ってもらうことができる。	児童集会へ向けて	ぼくたち、わたしたちの紹介
	2	(学・人) ・校外学習の日程や内容を知り、期待感を持つことができる。	校外学習に行こう	校外学習の事前学習、事後学習
	2	(思判表力) ・1年間をふり返し、楽しかったことやできるようになったことを発表することができる。	1年生がんばった会	1年間のふり返し、がんばったことの発表
留意点 引継ぎ等				